

文化・経済フォーラム滋賀

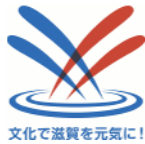
文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーず 第9号(2011年7月15日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局(大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

077(522)8369 fax 077(522)9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋



文化deけいざい 経済deぶんか  
ニュース&にゅーず 第9号

夏が続き

行すんで、梅雨明けですが、2週間も早い夏本番入りです。昨日14日、大津も35度近くなりました。滋賀会館から文化・経済フォーラム滋賀・部会長会議で湖岸を会場のびわ湖ホールまで歩きましたが、直射日光が頭を刺すようでした。今朝の京都新聞1面は太陽



に向かって咲くひまわり写真です。東近江市の「あいとうマーガレットステーション」で3万本は見頃だそうです。こうも強い暑さ続きですと、8月は早めの秋になるのではーと思います。

毎月第3木曜に開催する部会長会議ですが、昨日ではや3回目でした。木村代表幹事に中村経営部会長、馬場広報部会長、井上企画部会長の3役揃い踏みです。今回はスタッフ会議を持たず、事務局の滋賀県文化振興事業団が連絡を取り合い、協議事項と資料をまとめ、席上に配布しました。何時もどおり、木村代表幹事が直々の議事進行です。会議がすんで、午後6時からの浜大津、琵琶湖庄屋懇親会が恒例になっていますが、木村議長は～会議は10分前に終わらしましょう～と予告があり、どれだけ議案があっても、いつもピタリと着地が決まります。豊かな議長経験?、歴戦の勇士を感じます。

協議と報告は9項目、会議時間は1時間50分でした。この会議で決まったことをざっと書き上げてみます。まずは、文化で滋賀を元気に!賞の実施要領です。県文化振興課の竹内さんまとめです。これまで議論百出、ご苦勞をかけました。募集の詳細は後日記載します。街角の景観、地道な企業の文化活動、商店街独自の取り組みなど、地域が元気になるような活動を県民、会員から公募して、大賞1本、各賞3本を来年2月11日、琵琶湖ホテルで行う総会で表彰します。

大賞と各賞のトロフィー制作は彫刻家富樫実さん=写真=にお願いすることになりました。成安造形大名誉教授で、1999年には紺綬褒賞を受賞されています。仏教思想を背景とした「空(くう)にかける階段」を一貫した制作テ



ーマにされています。三条京阪構内、京都市美術館前庭にある作品は有名です。山形県ご出身で、鶴岡市の名誉市民、元横綱柏戸のご親戚だそうです。どんな賞トロフィーを制作していただけるか、今から楽しみです。

富樫さん制作の賞トロフィーが決まれば、この写真を取り込んで募集チラシをつくることになりました。チラシは成安造形大にお願いすることになりました。次回9月8日(木)に開催する幹事会前後に出来れば富樫さんにもご出席願って、募集開始の記者会見を行いたいと思っております。締め切りは11月8日、幹事会内で選考を行い、報道発表という段取りです。

次に文化・経済サロンの第1回企画案が企画部会を担当するびわ湖ホールの浅野さんから披露されました。滋賀県立大の印南比呂志教授(人間文化学部生活デザイン学科)を迎えて「地域でのアートとデザインのちからを考える」をテーマに話題を提供されます。それに基づき参加者で意見を交換します。この浅野案について、皆さんで協議した結果、

日程は8月4日、会場はびわ湖ホール研修室です。もうすぐです。



時間ですが、午後5時半から1時間ほど、設立総会のアンケートで企画部会入りを希望された皆様方で、初の部会を開催し、引き続き、午後6時半ごろから印南教授を交えてのサロンを実施するスケジュールです。進行はびわ湖ホール館長で企画部会長の井上さんです。会費は無料です。研修室のキャパ50人くらいです。浅野さんから進行方法、予算内訳など詳細な説明がありました。会員の皆さま一人でも多くご参加下さい。企画部会の皆様には事務局から別途案内を出しますが、もうその日はありません。ご都合をつけ、よろしくをお願いします。

この辺りの協議で、会議の持ち時間はあと50分ほどになり、木村代表幹事が「ええ、事務局さん、会議は何時まででしたかな?」と、議事進行にけん制をなげかけている発言です。ここからピッチは一気にあがり、議事はどんどん進みました。

総会の開催について、文化振興事業団の竹村事務局次長が説明しました。先に書きましたが、来年2月11日(祝)午後4時から琵琶湖ホテル開催です。ホテルと交渉を兼ねて下見をもらった中村経営部会長が補足します。2階ローズで総会、3階瑠璃で交流会です。文化で滋賀を元気に!賞の表彰がメインになりますが、これに加えて基調講演をだれにしてもらおうか、それぞれが次回までに案を出すことになりました。会場は200人、

十分余裕があります。総会参加費に加え、平成24年度の会費納入などの作業も、このあたり同時進行です。

加藤さんから近江屋の調査研究について報告がありました。タウンページなどに掲載の全国の近江屋さんにアンケートを出しては...との内容です。どのような趣旨で、アンケート結果をどうするか、まだ見えない部分が多いのですが、ルーツは近江、郷愁というテーマで、とりあえず第一段階の作業に入ることになりました。この前の広報部会で、サンライズ出版の岩根社長からアドバイスもあり、もう少しお話を聞くこと、文化振興事業団の福本さんが事務面でサポートすることなど、了解しました。アンケート内容、次のメルマガで紹介したいと思います。

会議は残り10分となり、広報部会の開催結果は馬場部会長が事務局ペーパーに基づき、報告しましたが、会議以上に懇親会も盛り上がったと。しがぎん経済文化センターの伊藤社長の後任、中川社長の監事就任などについて、事務局から報告がありました。それと忘れていました文化で元気に！のシンボルマークの活用・促進について、広報部会で使いにくいと指摘があり、県の方で改正案を検討してもらいましたが、さらに手を加えてもらうことになりました。



会員の日本よし笛協会、隠岐純一さんが昨日14日、写真のチラシ20枚を持参して滋賀会館にお見えになりました。8月28日午後1時からしが県民芸術創造館で、第6回よし笛定期演奏会を開催されます。入場無料で、よし笛サークル11団体が出演、サライ、笛吹童子などを演奏されます。開演に先立ち、午後0時半からはよし笛が体験できるワークショップもあります。どうぞ機会がありましたらお出かけ下さいとのことでした。

新しい会員さんは彦根文化連盟会長の中村一雄様、滋賀県総合政策部次長の多胡豊章様、それに彫刻家富樫実様です。個人会員140人、団体会員36、法人会員47で合わせて223人(団体)になりました。猛暑続く節電の夏、体調ご自愛の上お過ごし下さい。文化・経済フォーラム滋賀の次回会議は9月8日の幹事会です。(文責・岸野)